

キラリ 輝け 山陽中 No.24 (26.06.24) 文責 内海雅章

6月全校朝会より（校長の話から抜粋）

梅雨に入ったこともあり雨が多く、ジメジメとした日が続きますね。体がだるかったり、なんだかやる気が出なかったり、心の中まで曇り空のようになってしまう人がいるかもしれません。実は、この時期に心が疲れを感じるの、皆さんだけではなくありません。大人の私たちも同じです。

なぜなら、4月から新しい環境で、皆さんは自分が思っている以上に一生懸命、全力で走り続けてきたからです。今の疲れは、皆さんがここまで頑張ってきた証拠です。

そこで、この6月の終わりに、一度立ち止まって「自分の足元」を見てみましょう。4月の始業式、入学式のときの自分と、今の自分を比べてみてください。新しくできるようになったこと、新しく覚えたこと、仲良くなれた友達の顔……。小さくても構いません。必ず、3ヶ月前より成長している自分があるはずです。

もし今、上手くいかないことがあって悩んでいる人がいても、焦る必要はありません。雨が降るからこそ、植物はしっかりと根を張り、夏の太陽に向かって大きな花を咲かせることができます。今の時期は、皆さんが次のステップへ進むための「根っこ」を育てる大切な時間です。

一学期の締めくくりまで、あと約1ヵ月。しんどい時は、周りの友達や先生を頼りながら、一日一日を大切に過ごしていきましょう。

部活動壮行会より

6月24日（水）「中播地区中学校総合体育大会」の壮行会を行いました



男子バレー部



柔道部



女子バスケット部



吹奏楽部

この中播総体やコンクールは、兵庫県総体、近畿総体、そして全国大会へとつながる第一歩の大会であり、部員の皆さんにとっても、大きな目標の一つになっていることと思います。

その一方で、部活動に所属している皆さんの中には、「大会での勝利」だけが最終目標ではない人もいるでしょう。「次の進路でもこの競技、種目を続けよう」「中学校で一度燃え尽きて、次は違うことに挑戦しよう」「生涯の趣味として続けていこう」など、思いはそれぞれで良いと思います。

しかし、部活動で活動している以上、その成果を発表する場として大会やコンクールがあり、すべての学校の選手、生徒たちが、賞状という重みのある栄誉を手にするためにしのぎを削っているのも事実です。私はそれを否定できませんし、また非常に価値のある大切なことだと思っています。だからこそ、特に3年生の皆さんには、ここまで続けてきた、やり遂げた自分にどうか誇りを持ってほしい。そして、仲間を信じ、自分を信じて、最高のパフォーマンスを見せてきてください。私も時間の許す限り、会場へ応援に駆けつけたいと思っています。悔いを残さず、全力でプレーしてきてくれることを期待しています。

最後に。「勝っておごらず、負けて腐らず」。勝っても負けても正々堂々、素晴らしい足跡を残してきてください。応援しています。頑張ってください。

